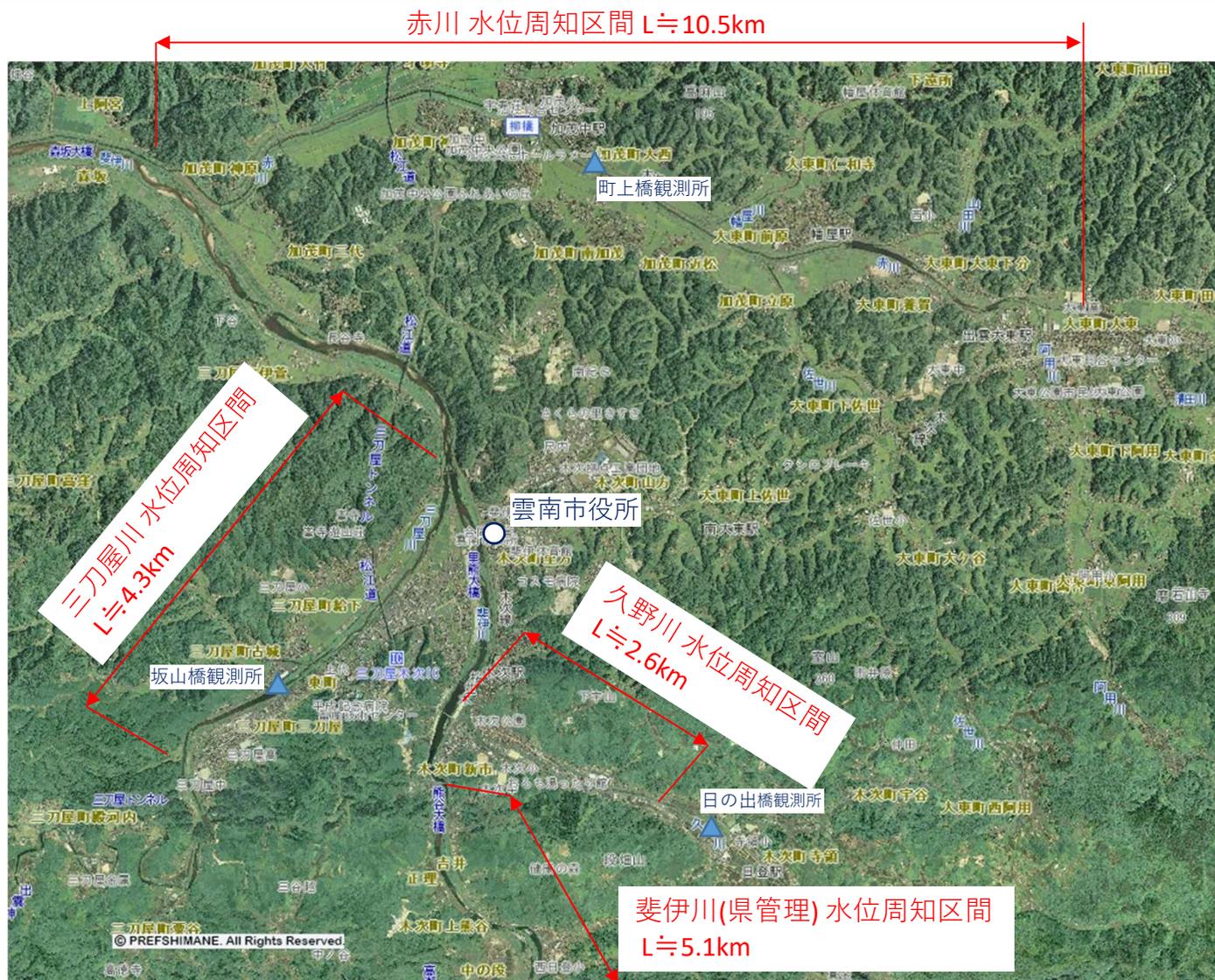


雲南圏域
県管理河川に関する減災対策協議会
(フォローアップ)

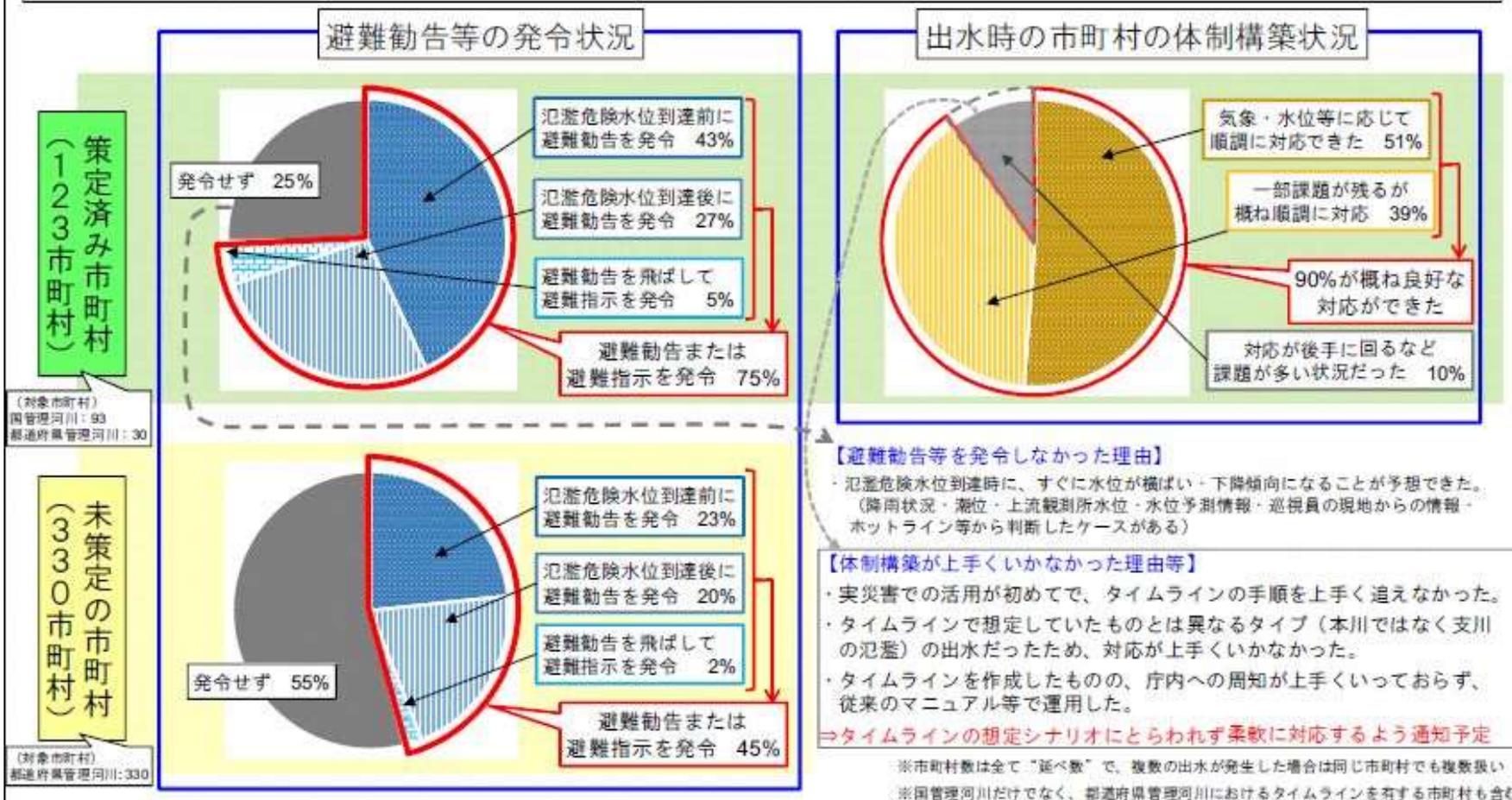
- ・平成29年度の実施状況
- ・平成30年度の実施予定

項目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	
内容	H29年度取組	航空レーザ測量による地形測量
	H30年度予定	斐伊川（県管理）・赤川・三刀屋川・久野川の洪水浸水想定区作成に着手
取組機関	島根県	



水害対応タイムライン策定効果の検証

- 今年の出水で氾濫危険水位を超過した河川がある市町村(延べ451市町村)を対象に、タイムラインの策定状況と「避難勧告等の発令」及び「市町村の体制構築」がスムーズに行えたかどうか、聞き取り調査を実施
- タイムライン策定市町村では、迅速な避難情報の提供だけでなく、順調な体制構築・対応にも効果を発揮
- 今後、タイムラインの策定・活用を促すと共に、シナリオにとらわれない柔軟な対応ができるよう通知予定



項目	4. 洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着）	
内容	H29年度取組	情報伝達演習の実施【H29.4.28】 実洪水でのホットライン【H29.9.17】
	H30年度予定	情報伝達演習においてホットライン等を実施し、連絡体制の定着を図る。
取組機関	雲南市、奥出雲町、飯南町、島根県	

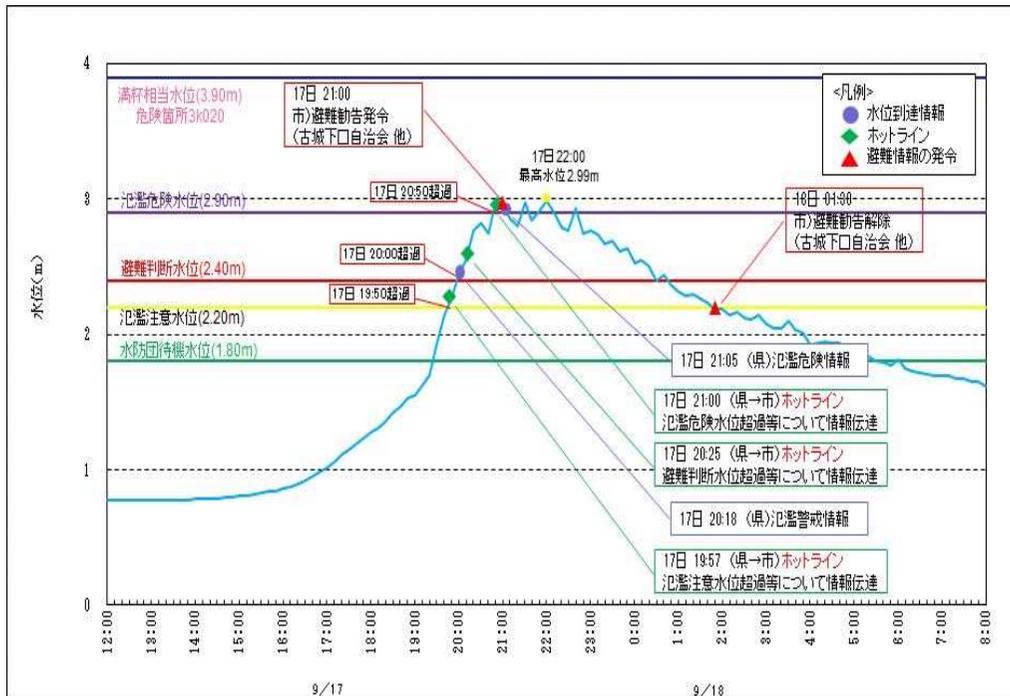
**河川に関する情報伝達演習
(H29.4.28)**



水防本部（河川課水防室）の状況

**ホットラインを含めた情報伝達演習を実施
(H30.4.25)**

三刀屋川 坂山橋観測所 ホットライン (H29.9.17)



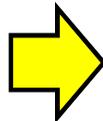
項目	5. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内容	H29年度取組	次期水防情報システム開発に着手（島根県）
	H30年度予定	次期水防情報システム開発実施（島根県）
取組機関	松江地方気象台、島根県	

◆次期水防情報システムの開発

現水防システムの課題

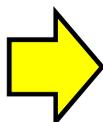
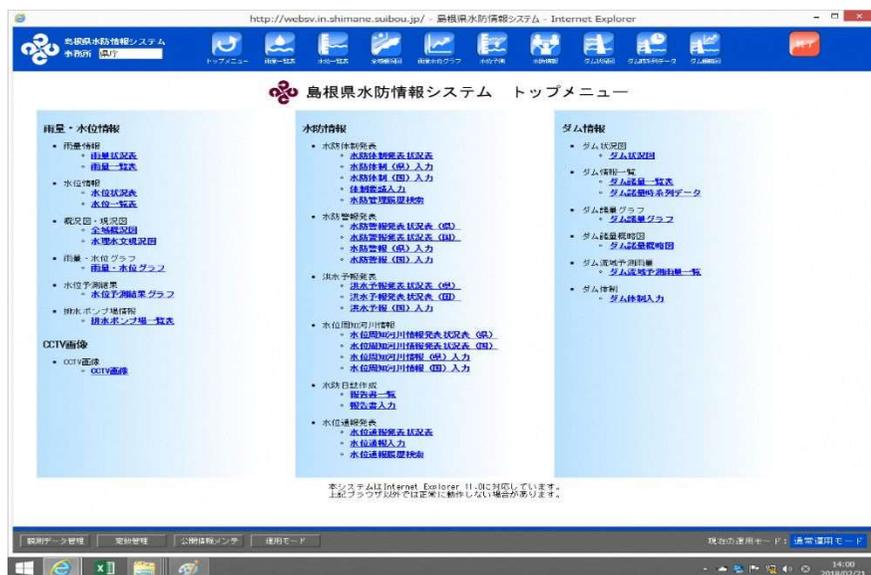
- ① 迅速かつ確実な情報伝達に懸念
(操作方法が複雑)
- ② 水害リスクの速やかな予測が困難
- ③ 訓練設定機能が複雑、内容が一様
- ④ 県民向けの情報提供

改善



- ① 迅速かつ確実な情報伝達の確保
 - (i) 水防情報の機能一元化
 - (ii) 操作方法が容易で誤配信を防ぐシステム
- ② 水害リスクの予測支援
- ③ 実態に近い訓練の支援
- ④ 県民向け情報提供の充実
- ⑤ 観測通信設備更新への円滑な対応

◆トップ画面イメージ



項目	5. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内容	H29年度取組	出水期より、改善された防災気象情報を提供開始（松江地方気象台）
	H30年度予定	大雨警報・注意報（浸水害）基準及び洪水警報・注意報基準を改善するための調査を実施中（松江地方気象台）
取組機関	松江地方気象台、島根県	

平成29年度出水期に実施した 防災気象情報の改善概要



基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなくとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

交通政策審議会気象分科会提言「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方（平成27年7月29日）より

改善Ⅰ 危険度を色分けした時系列

H29.5.17
提供開始

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

【改善策】

平成××年××月××日××時××分××地方気象台発表
××市

【発表】暴風、波浪警報 大雨、雷、濃霧注意報
【継続】高潮注意報

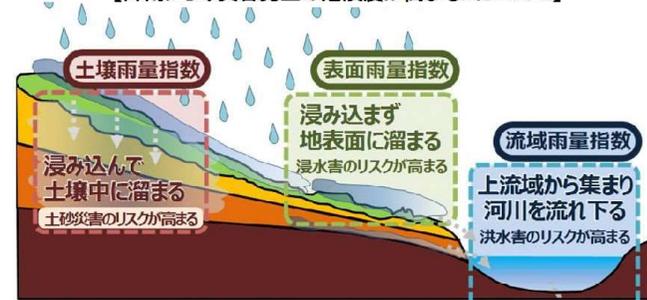
××市	今後の推移（警報級、注意報級）											
	7日	8日			9日						10日	
発表中の警報・注意報等の種別	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24			
1時間最大雨量（ミリ） （浸水害）	10	10	30	30	50	50	50	30	30			
暴風 風速（矢印・メートル）	海上	陸上	海上	陸上	海上	陸上	海上	陸上	海上			
波浪（メートル）	5	5	8	8	8	8	8	7	7			
潮位（メートル）	0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2			

【現在】
注意報・警報
（文章形式）

改善Ⅲ 危険度分布（メッシュ情報）の充実

- 災害発生の危険度の高まりを評価する技術の開発（表面雨量指数・流域雨量指数）

【降雨により災害発生の危険度が高まるメカニズム】



改善Ⅱ 「警報級の可能性」の提供

H29.5.17
提供開始

- 夜間の避難等の対応を支援する観点から、可能性が高くなくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表
- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付	明朝まで	明日	明後日	（金）	（土）	（日）
警報級の可能性	雨	中	—	—	中	高
	風	中	—	—	高	高

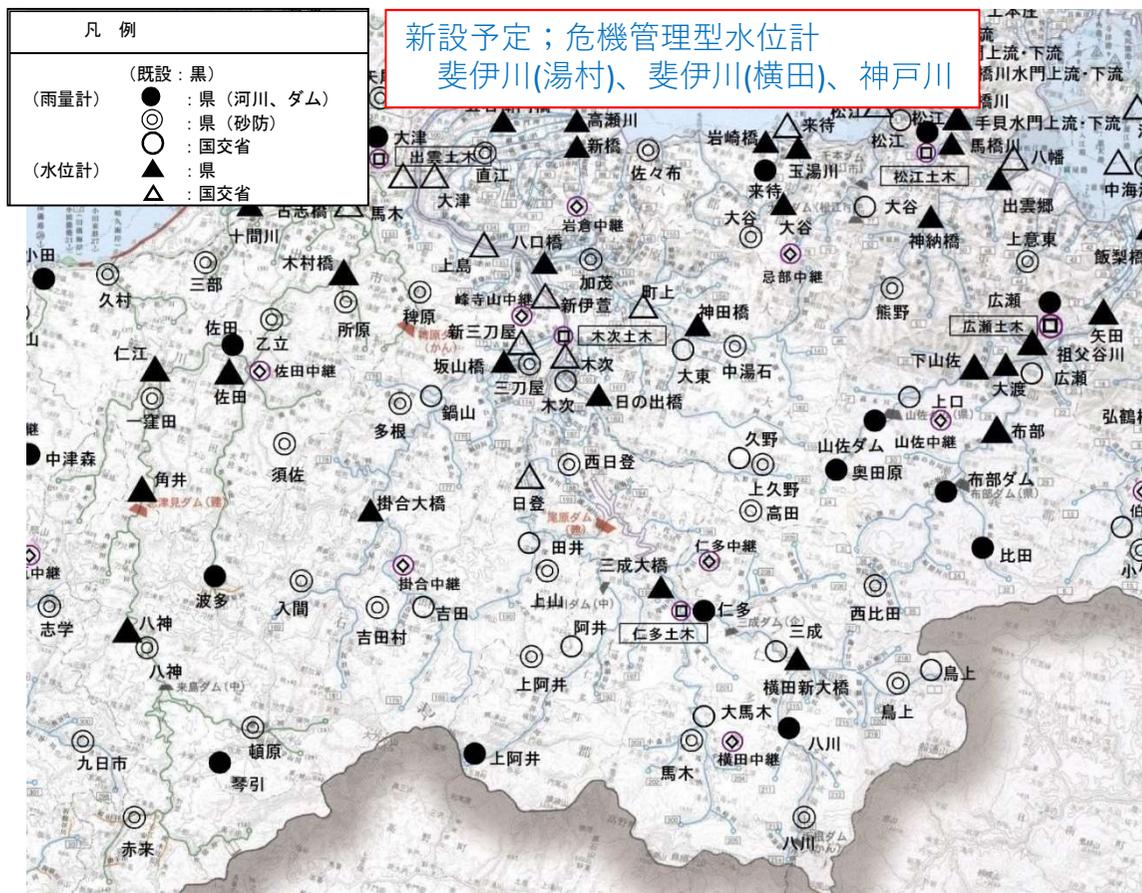
- 大雨警報・洪水警報等を発表した市町村内においてどこで実際に危険度が高まっているかを確認できる危険度分布の提供



- 危険度分布の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善

項目	6. 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内容	H29年度取組	—
	H30年度予定	島根県／危機管理型水位計の整備 〔雲南市：斐伊川（湯村）、奥出雲町：斐伊川（横田）、飯南町：神戸川）
取組機関	島根県、雲南市、奥出雲町、飯南町	

簡易型水位計の整備（H30.12頃予定）



洪水に特化した低コストな水位計の設置例



項目	7. 住民の水防災意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内容	H29年度取組	各市広報紙、新聞広報（考える県政）、防災出前講座
	H30年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	雲南市、奥出雲町、飯南町、出雲河川事務所、松江地方気象台、島根県	

奥出雲町
防災に関する研修・会議
平成30年度も各地区で開催

飯南町
梅雨時期の広報紙に防災記事



役場通信

移動支援事業の運転手募集

出雲養護学校に通う生徒の皆さん、移動支援車両の運転手を募集しています。

募集要件 車の運転が可能な人。ただし、第二種運転免許所有者や、往診と復路両方の送迎が可能な人を優先とさせていただきます。

運転内容
・毎週月曜日（朝）／集合場所へ出雲養護学校への送迎
・毎週金曜日（夕方）／出雲養護学校へ集合場所への送迎
（ただし、祝日・連休等により変動あり）

送迎車両 運転手の自家用車を福祉車両として利用または運行管理会社（コミュニケーションサポートイサミの車両）を使用

■お問合せ
福祉事務所 電話72・1773

土砂災害に注意
してください

これから梅雨の時期をむかえ、土砂災害の危険性が高くなる恐れがあります。土砂災害から身を守るため、早めの避難を心がけてください。

雨が止んだ後も、地盤がゆるみ、土砂災害の危険性が高い状態が続いています。2階などで就寝し、などがけ地や溪流の異状を発見し、過ごすよう心がけてください。

※がけ地や溪流の異状を発見し、場合は、速やかに役場や県土木備事務所へご相談ください。

■お問合せ
総務課 電話 76・2211
雲南県土整備事務所
電話 0854・42・9587

項目	7. 住民の水防災意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内容	H29年度取組	各市広報紙、新聞広報（考える県政）、防災出前講座
	H30年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施、インターネット、CATVの活用
取組機関	雲南市、奥出雲町、飯南町、出雲河川事務所、松江地方気象台、島根県	



超高密度気象観測システムの導入

雲南市では超高密度気象観測システム（通称POTEKA）を平成29年から導入

市内15箇所の気象データ7種類をリアルタイムで、パソコン、スマートフォンで閲覧できるようになりました。

気象台のアメダス2箇所とあわせて詳細な気象の確認ができる

避難判断や警戒体制の強化に活用が期待されている。

住民が自ら情報を得ることが可能

気象庁測器検定付き小型気象計

①日射 ②感雨 ③風向・風速 ④気圧 ⑤気温 ⑥湿度 ⑦雨量



項目	8. 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所共同点検等	
内容	H29年度取組	水防ポンプ設備の点検・訓練
	H30年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認
取組機関	雲南市、奥出雲町、飯南町、各消防団等、島根県	

H30 連絡調整会議、共同点検を行う



雲南市による内水排除ポンプ点検・訓練

項目	10. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	
内容	H29年度取組	要配慮の必要な人が利用する施設の抽出 福祉部門と連携 連絡体制の確認
	H30年度予定	避難計画書の作成助言・地域防災計画書への記載 連絡体制の確認
取組機関	協議会全体	

避難計画作成状況

◆雲南市・奥出雲町・飯南町

H29 対象事業所抽出

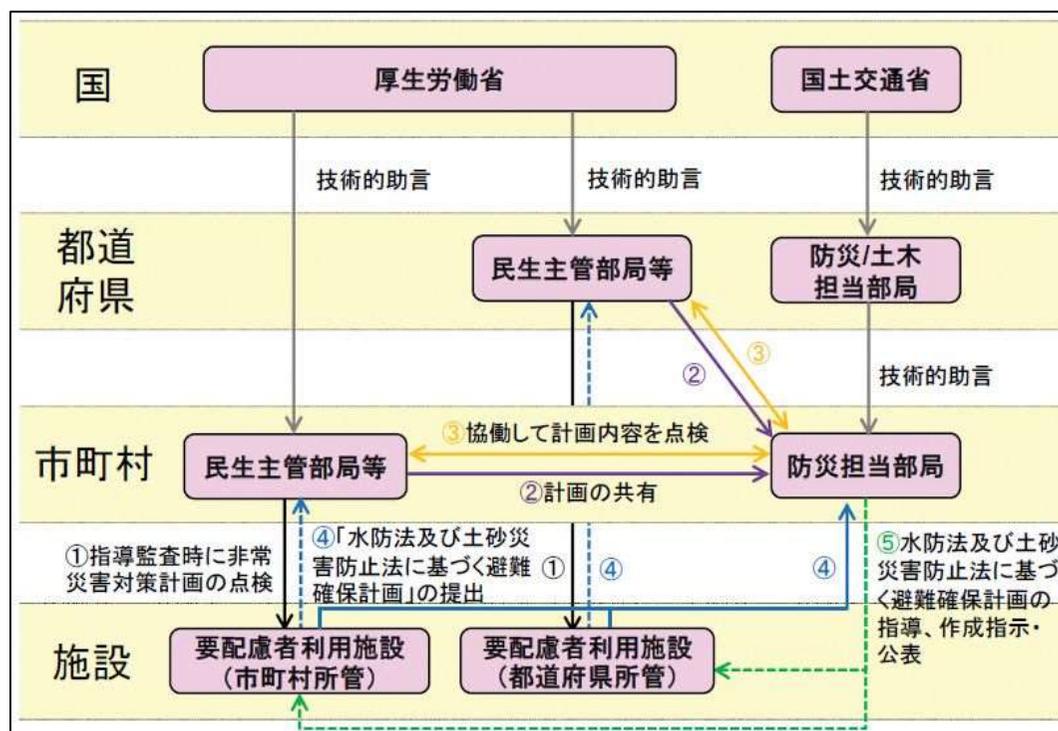
(雲南市・奥出雲町・飯南町)
福祉部門と連携しデータ収集
対象5施設の計画策定・訓練
(飯南町)

※H30予定

浸水区域の確定
施設避難計画作成助言・作成
土砂災害特別警戒区域調査の結果
を含め検討

洪水浸水想定区策定後 抽出

要配慮者利用施設の避難確保計画作成・点検の流れ



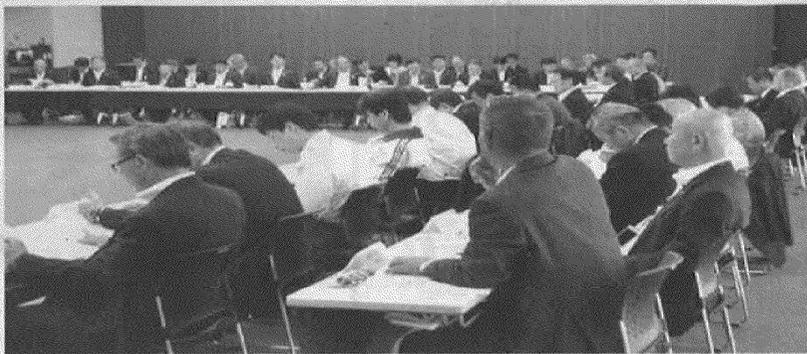
項目	10. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	
内容	H29年度取組	要配慮の必要な人が利用する施設の抽出 福祉部門と連携 連絡体制の確認
	H30年度予定	避難計画書の作成助言・地域防災計画書への記載 連絡体制の確認
取組機関	協議会全体	

出雲市・危機管理推進会議

市民防災を総合的に検討する今年度の出雲市危機管理推進会議兼出雲市防災会議・出雲市国民保護会議が30日、出雲市役所であった。避難計画と訓練実施を義務付ける「要配慮者利用施設」を200から399に拡大する「出雲市地域防災計画」の修正などが承認された。

この会議は、行政や指定公共機関、公共的団体などの代表者が集まり、市の地域防災計画などの見直しを行うもの。出雲市地域防災計画の修正は、想定される最大規模降雨による斐伊川水系の浸水想定(2016年6月に国土交通省が公表)を反

大した。また、同計画の応急仮設住宅の提供に関する事項を修正し、県と市の役割分担を明確にした。消防団関係者の委員からは、「避難場所



新道の駅「センザキッチン」の紹介＝30日、中国「道の駅」連絡会総会



要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練

災害時の避難計画と訓練

1.5倍の400施設に義務付け

出雲市危機管理推進会議兼防災会議・国民保護会議で意見を述べる消防団関係者＝30日、出雲市役所

に指定されている施設が、水害に遭う危険性が



平成30年(2018年)5月31日(木)

発行所 島根日日新聞社 〒693-0001 出雲市今市町743-22

参考資料

江 FAX (0852) 31-9205
 島南 TEL (0854) 45-3991 FAX (0854) 45-3993
 大田 TEL (0854) 82-7388 FAX (0854) 82-7366
 東京 TEL (03) 3519-5575 FAX (03) 3519-5836

LIVING SHIMANE 月刊無料情報紙

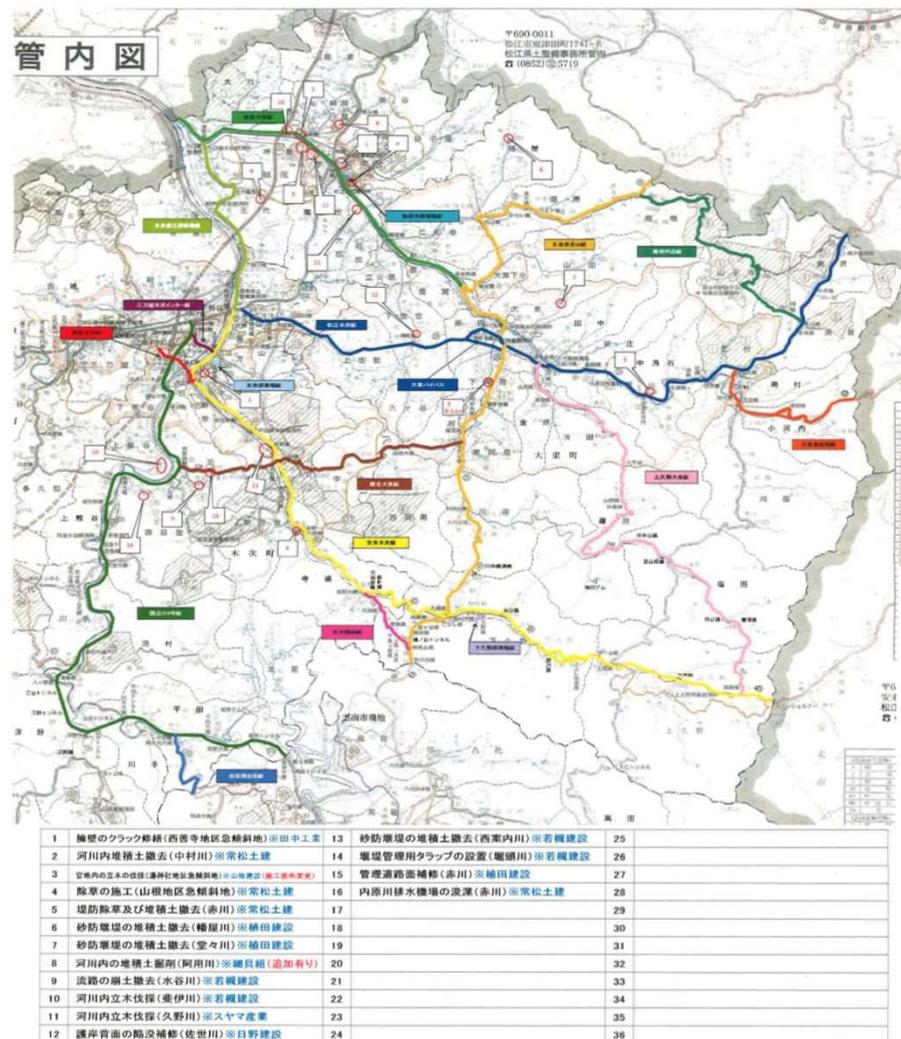
「道の駅」連絡会総会 出雲

がある施設にもなっている。住民にとってわかりやすい地域別表記に改めるべきなどの指摘もあった。

事務局を県にある駅が加盟の「道の駅」が総会が塩治有ツエルンが開かれが広島県

項目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内容	H29年度取組	堆積土砂の撤去・伐採
	H30年度予定	市町・協働で効果的な河川管理
取組機関	雲南市、奥出雲町、飯南町、島根県	

平成29年度 赤川外 河川砂防維持管理業務委託 第2期
指示書位置図 (H29.10.01~H30.03.31)



久野川伐採



内原川浚渫

項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	H29年度取組	河川内の土砂掘削・伐採・護岸修繕
	H30年度予定	市町と協議し、河川浄化事業と協働調整し、効果的な撤去・伐採
取組機関	雲南市、奥出雲町、飯南町、島根県	

H29 河川区域内 伐採、浚渫 H30 市町と協議し実施



赤川 河川内伐採・掘削 着手前

赤川 河川内伐採・掘削 竣工

項 目	13. 市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	
内 容	H29年度取組	管内市町村庁舎（警戒本部）についての現況調査 自衛水防対応済み
	H30年度予定	拠点避難施設・災害拠点病院の現況調査
取組機関	雲南市、島根県（奥出雲町・飯南町）	

雲南市

【現状】

< 雲南市立病院（災害拠点病院） >

- ・洪水浸水想定区域
- ・非常用発電機：有

< 雲南市役所 >

- ・洪水浸水想定区域内（斐伊川）
- ・非常用発電機：有

奥出雲町庁舎・飯南町庁舎ともに新庁舎で対応済み

平成30年度に雲南市の周知河川について浸水想定区域策定業務により調査を行い、再検討

取組スケジュール		H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3
1	洪水浸水想定区域図	・航空レーザ測量	【雲南市】4河川 斐伊川・赤川・三刀屋川・久野川			
2	水害ハザードマップ改良			洪水浸水想定区域図に基づく水害ハザードマップの改良		
3	水害対応タイムライン	水害対応チェックリスト作成 H28.6		H31d出水期までに水害対応TLの作成 洪水浸水想定区域図を踏まえ必要に応じて順次見直し		
4	ホットラインの定着	ホットライン開設 H28.6	情報伝達演習等を通じてホットラインの定着を図る			
5	水防情報システム開発		システム開発	次期水防情報システムの運用		
6	簡易水位計等の整備		モデル河川で簡易水位計設置・検証 雲南圏域での箇所選定	簡易水位計の追加整備		
7	防災知識の普及	防災知識普及の継続的な実施				
8	共同点検		毎年出水期前に重要水防区域・危険な箇所の共同点検			
9	水害危険性の周知		浸水実績の収集整理	水害ハザードマップ等による周知 水位周知河川の追加指定		
10	要配慮者利用施設避難確保計画	施設管理者向け説明会 H29.1~2	要配慮者利用施設管理者による避難確保計画作成支援 洪水浸水想定区域図を踏まえ対象施設の見直し			
11	河川改修・堆積土撤去等	河川改修・堆積土撤去の継続実施				
12	排水施設等の情報共有			洪水浸水想定区域図を踏まえ、 長期浸水地域において運用の検討		
13	市町村庁舎等の自衛水防		情報伝達方法の共有、耐水化・非常用電源等の対策			

5 年 間 の 取 組 目 標 達 成

毎年出水状況を共有；適宜、取組項目・スケジュールの見直しを行う

雲南圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細）

赤字;H29取組状況
青地;H30取組予定

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					
			雲南市	奥出雲町	飯南町	出雲河川事務所	松江地方气象台	島根県
■水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現								
1 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	斐伊川(県管理)、赤川、三刀屋川、久野川	平成31年度末まで						・想定最大規模降雨による浸水想定区域図作成・公表し、関係市へ提供。 ・H30年度 雲南市
		H29取組状況						航空レーザ測量
		H30取組予定						斐伊川(県管理)・赤川・三刀屋川・久野川の洪水浸水想定区作成に着手
2 水害ハザードマップの改良・周知	対象流域	平成33年度末まで	・県の浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸配布。	・ハザードマップの修正・加筆 ・過去の浸水範囲 ・土砂災害特別警戒区域 河川への影響などリスクを周知	・ハザードマップの修正・加筆 ・過去の浸水範囲 ・土砂災害特別警戒区域 河川への影響などリスクを周知			・浸水区域・計算水位・土砂災害特別警戒区域データなど市町へ提供
		H29取組状況	地域住民・社会福祉協議会・JA・養護学校などへの出前講座を実施し、ハザードマップの見方や利用方法などについて周知した。	—	—			—
		H30取組予定	ハザードマップの更新について、県管理河川の浸水想定区域図公表後より検討実施。 継続して出前講座等により、ハザードマップの見方や利用方法などを周知する。	・ハザードマップの修正・加筆 ・過去の浸水範囲 ・土砂災害特別警戒区域 河川への影響などリスクを周知	—			浸水区域・計算水位・土砂災害特別警戒区域データなど市町へ提供
3 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	斐伊川(県管理)、赤川、三刀屋川、久野川	平成31年度末まで	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・既存の水害対応チェックリストを作成し、水害対応を見える化する。 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・既存の水害対応チェックリストを作成し、水害対応を見える化する。 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・水害対応タイムライン作成時において、相談があれば技術的助言を行う。	・水害対応タイムラインの確認・調整。 水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し
		H29取組状況	既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムライン作成の検討を開始した。	—	—	—	・水害対応タイムラインの確認・調整。 水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成の検討
		H30取組予定	水害タイムライン作成の為、関係機関との調整。	—	—	水害タイムライン作成時において要請があれば、技術的助言	・水害対応タイムラインの確認・調整。 水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	水害対応タイムラインの作成 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し

雲南圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細）

赤字;H29取組状況
青地;H30取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					
				雲南市	奥出雲町	飯南町	出雲河川事務所	松江地方气象台	島根県
4	洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着）	斐伊川（県管理）他	平成28年度から継続実施	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る			・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る
			H29取組状況	出水期前の情報伝達演習を実施し、連絡体制を確認した。	情報伝達演習への実施【H29.4.28】	洪水対応演習に併せ、連絡先の確認を実施			情報伝達演習の実施【H29.4.28】
			H30取組予定	出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る。	情報伝達演習への参加【H30.4.25】	洪水対応演習に併せ、連絡先の確認を実施			情報伝達演習の実施【H30.4.25】
5	避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	圏域	平成32年度末まで					<ul style="list-style-type: none"> 防災気象情報の改善 <ul style="list-style-type: none"> ○危険度を色分けした時系列 ○警報級の可能性の提供 ○危険度分布（メッシュ情報）の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 次期水防情報システムの開発 <ul style="list-style-type: none"> ○操作法を改善し迅速な情報提供 ○観測データの異常値チェック機能 ○スマートフォンに対応した情報提供 ○訓練シナリオの充実
			H29取組状況					・平成29年度出水期より改善された防災気象情報を提供開始（完）	・次期水防情報システム開発に着手
			H30取組予定					・大雨警報・注意報（浸水害）基準見直しを行い、今後も継続して調査を行う	・次期水防情報システム開発
6	水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	圏域	平成30年度から順次実施	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易水位計について、島根県の検証を待ち、H30 1箇所試験設置 ・超高密度気象観測システム（POTEKA）を市内15箇所に設置し、観測データを警戒避難体制に活用（民間事業者の観測データを利用） 	島根県の検証を待ち、設置場所など協議 H30 1箇所試験設置 運用方法の検討	島根県の検証を待ち、設置場所など協議 H30 1箇所試験設置 運用方法の検討			<ul style="list-style-type: none"> ・モデル河川に簡易水位計を整備し、効果を検証した上で順次拡大を図る ○モデル河川、 配置の場所
			H29取組状況	超高密度気象観測システム（POTEKA）を市内15箇所に設置し、気象データの観測を開始、スマホアプリやインターネットサイトにより市民への気象情報の配信や警戒避難体制に活用した。	—	—			—
			H30取組予定	超高密度気象観測システム（POTEKA）による気象観測データをCATVと連携し、データ放送で配信を行い、多くの市民への活用の推進と周知を図る。	島根県の検証結果を受け、効果が見込まれる場合には新たな設置予定場所の協議	簡易水位計の整備 神戸川（松崎橋）予定			<ul style="list-style-type: none"> ・簡易水位計の整備 雲南市：斐伊川（湯村） 奥出雲町：斐伊川（横田） 飯南町：神戸川

雲南圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細）

赤字;H29取組状況

青地;H30取組予定

No.	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					
				雲南市	奥出雲町	飯南町	出雲河川事務所	松江地方气象台	島根県
7	出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	圏域	毎年継続実施	・地域自主組織、自治会等へ出向いて、通年を通して防災に関する出前講座の実施 共同でポンプ施設研修 ・出水期前に市報やチラシを活用した防災情報の発信	・広報紙、CATV、ホームページを活用した防災情報の発信	・広報紙、CATV、ホームページを活用した防災情報の発信	・出前講座による水防情報の入手、活用方法等の普及について、引き続き取り組む。	・出前講座等により防災気象情報の入手、活用方法等について周知。また、協議会として防災教育を実施する際には講師派遣、資料提供に対応。	・出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 ・広報紙を活用した防災情報発信
			H29取組状況	地域自主組織、自治会等への出前講座・防災メールを活用した避難訓練等により防災知識の普及や防災情報の入手方法の周知、自らの避難行動につながる訓練を実施した。 (H29:25回実施)	告知放送、ホームページにて防災情報の発信	・10/15町防災訓練の実施 ・防災士の養成			・新聞広報(考える県政)【H29.6.18】
			H30取組予定	地域自主組織、自治会等への出前講座・防災メールを活用した避難訓練等により防災知識の普及や防災情報の入手方法の周知、自らの避難行動につながる訓練を実施	広報紙、CATV、ホームページを活用した防災情報の発信	・自治区長会などでの防災情報の周知 ・防災士の養成	要請により防災訓練、出前講座等の実施	・出前講座等	・新聞広報、出前講座等
8	水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所等の共同点検	斐伊川(県管理) 他	平成30年度から	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検	・出水期前に危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・町・消防団等と共同点検	・出水期前に危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・町・消防団等と共同点検			・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検
			H29取組状況	出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市等と共同点検を実施した。 (H29.6.12実施)	—	—			—
			H30取組予定	出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検を実施(日程調整中)	出水期前の連絡調整会議にて、「危険な箇所」、「重要水防区域」、「水防資機材」等の共同点検を実施。	出水期前に危険箇所等について自治区、消防団等と情報の共有			出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認
9	水害危険性の周知促進	斐伊川(県管理) 他	平成32年度から	・浸水実績等の周知検討	・浸水実績等の周知検討	・浸水実績等の周知検討			・過去の浸水実績や簡易な方法を活用した浸水想定区域を関係市へ提供。 ・役場等に係る河川を中心に対象河川を調整
			H29取組状況	県の情報提供後、浸水実績等の周知検討	—	—			—
			H30取組予定	県の情報提供後、浸水実績等の周知検討	・浸水実績等の周知検討	—			簡易な方法を活用した浸水想定区域の検討

雲南圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細）

赤字;H29取組状況
青地;H30取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					
				雲南市	奥出雲町	飯南町	出雲河川事務所	松江地方气象台	島根県
■要配慮者利用施設における確実な避難									
10	要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成支援		平成28年度から継続実施	・計画策定等に係る資料の提供及び指導助言 ・浸水区域の要配慮者利用施設の把握・地域防災計画に要配慮者利用施設を記載するとともに、健康福祉部と連携し避難確保計画作成を支援する。	・計画策定等に係る資料の提供及び指導助言	・計画策定等に係る資料の提供及び指導助言	・要配慮者利用施設の管理者が作成した避難確保計画について、自治体担当者から相談があれば技術的な助言を行う。	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・避難確保計画において防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有
			H29取組状況	浸水区域の要配慮者利用施設の把握、健康福祉部・教育委員会・子ども政策局と連携し、避難確保計画作成の支援・情報提供を実施	—	(H30.3月末現在) 対象施設 5施設 作成済施設 5施設	—	・(説明会及び)避難確保計画作成に係る助言の依頼なし。	—
			H30取組予定	浸水区域の要配慮者利用施設へ、健康福祉部・教育委員会・子ども政策局と連携し、避難確保計画作成の支援・資料提供・指導助言を実施	・計画策定等に係る資料の提供及び指導助言	継続	計画作成に際して相談があれば助言を行う。	・(説明会及び)避難確保計画作成に協力する。	計画作成支援を行う
■被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る									
11	河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	圏域	平成28年度から継続実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施 ・県市との合同調査	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施			・河川整備状況を共有 ・河川改修、水門、排水施設の長寿命化について計画的に実施 ・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について関係市と調整し優先箇所を定めて順次実施
			H29取組状況	市建設部により、市管理河川(佐世川、岩倉川、前根波川、木ノ下川)及び県管理河川(大竹川、堂の前川、西案内川、水谷川)の堆積土撤去を実施した。	(H29実績) ・一級河川 5件 ・普通河川 5件	地元要望等踏まえ優先箇所について実施			
			H30取組予定	通水を阻害する堆積土砂や立木の撤去について、県市が合同調査を行い、優先箇所を定めて順次実施	通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	地元要望等踏まえ優先箇所について実施			

雲南圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細）

赤字;H29取組状況
青地;H30取組予定

No.	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関				
				雲南市	奥出雲町	飯南町	出雲河川事務所	松江地方气象台
12	排水施設、排水資機材等の情報を共有	圏域	毎年継続実施	・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・県ポンプ車・市ポンプ車の稼働待機情報および相互活用	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行う。	・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・長期にわたり浸水が継続し重要施設(市町村庁舎等)が存する地域において排水計画を作成
			H29取組状況	・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・市ポンプ車及び排水ポンプの設置・稼働訓練を実施(H29.5.9三谷川樋門において実施)	県水防計画により排水施設、排水機材の情報を共有	・平成29年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有	・平成29年度災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有	・平成29年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
			H30取組予定	・平成30年度水防計画により排水排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・市ポンプ車及び排水ポンプの設置・稼働訓練を実施(H30.6月上旬実施予定)	県水防計画により排水施設、排水機材の情報を共有	・平成30年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有	・平成30年度災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有	・平成30年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
13	市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	圏域	平成29年度から継続実施	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の情報提供 ・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、情報提供				・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の共有 ・浸水想定区域内の市町村庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、協議会で共有
			H29取組状況	浸水想定区域内の庁舎や災害拠点等の管理部門に対して情報提供を行った。				—
			H30取組予定	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の情報提供 ・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、情報共有				—

超高密度気象観測システム (POTEKA) について

市内15箇所に設置した POTEKA (ポテカ) により計測した7種類の気象データをインターネット (パソコン又はスマートフォン) を利用して閲覧することができるようになりました。

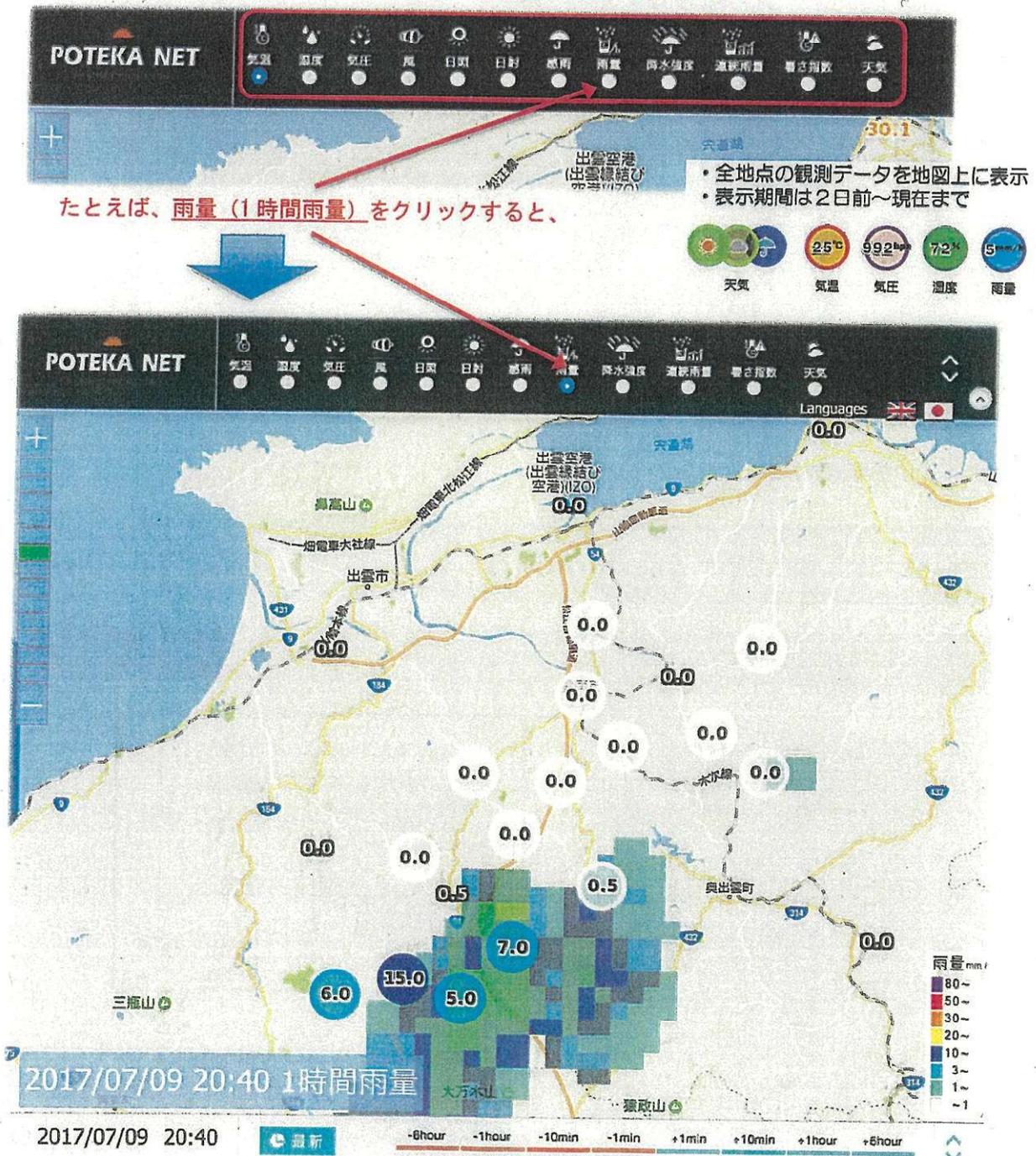
【パソコンでの閲覧方法】 POTEKA.NET の URL にアクセスするとトップ画面が表示されます。

<http://www.potekanet.com/> (推奨ブラウザ: Google Chrome)

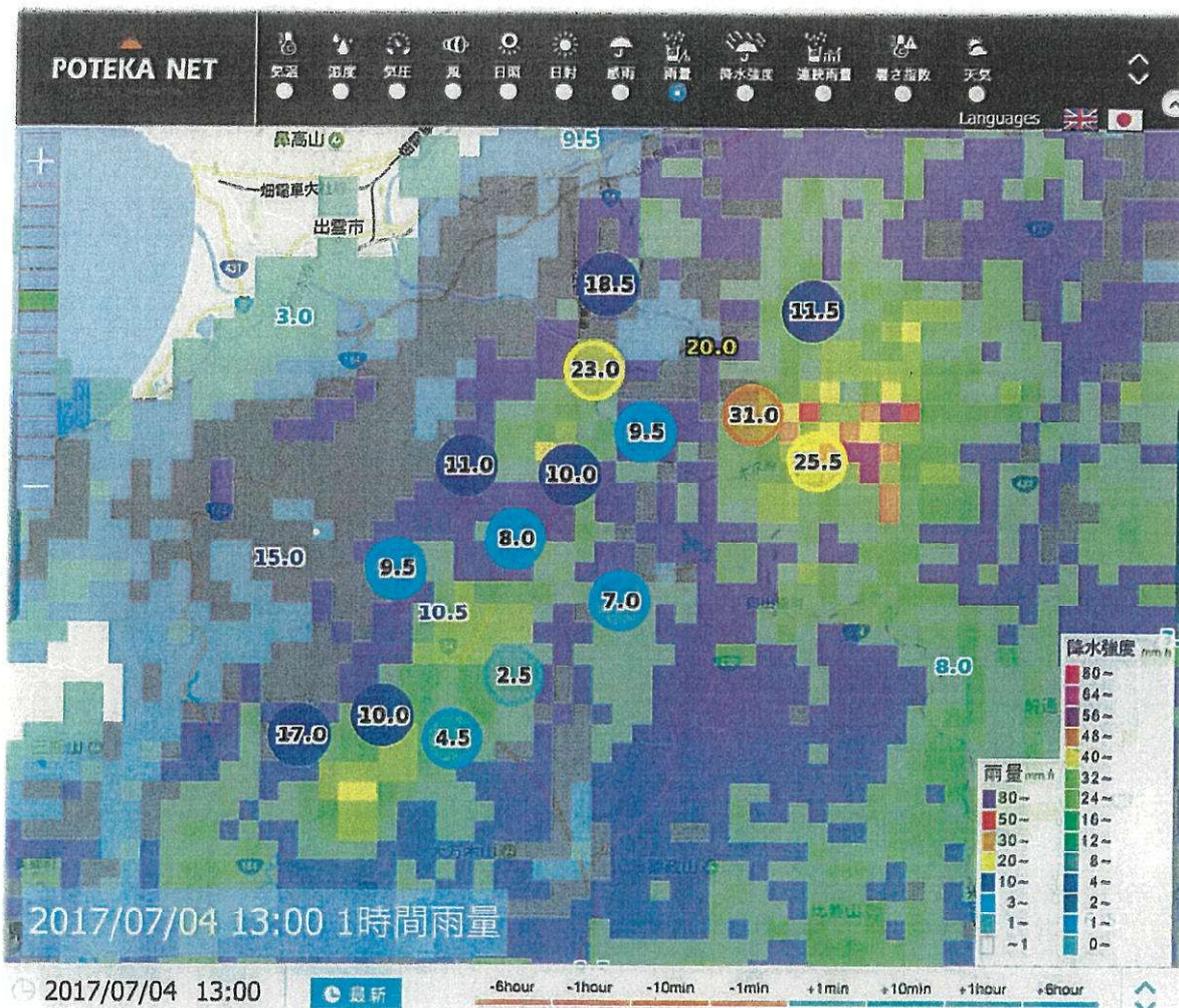
【POTEKA の基本的な使い方】

サイトにアクセスしたら、画面上部の項目を選択します。選択された項目の観測情報がリアルタイムで地図上に表示されます。

クリックした観測項目が表示されます。



※ 1分ごとに観測データを更新



[POTEKA の機器概要]

気象庁測器検定付き小型気象計

①日射 ②感雨 ③風向・風速 ④気圧 ⑤気温 ⑥湿度 ⑦雨量



【スマートフォンアプリでの閲覧方法】

まずは、無料アプリ「My POTEKA」をダウンロードします。

無料アプリ「My POTEKA」
ダウンロードはこちらから

スマートフォンアプリ 検索
My POTEKA MYPOTEKA

- 1 地図表示で気象情報をチェック
- 2 ピンポイントで観測データを表示
- 3 アラート通知で危険情報を逃さない
(Android版専用機能)



iPhone をご利用の方



Android をご利用の方



※App Store を閲覧するには iTunes のインストールが必要です。
※iPhone、Android から直接ダウンロードの際、アプリケーションのダウンロードに必要なパケット通信費はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

1 地図表示で気象情報をチェック



ヘッダメニュー
表示する観測要素の選択やデータ更新などを行います

地図表示エリア
POTEKAで観測したデータや雨雲レーダーなどを表示します

表示する時刻を指定できます

2 ピンポイントで観測データを表示

明星電気 本社工場		
2016-07-20 09:45:00		
天気	気温	湿度
	26.8 °C	53 %
気圧	風向	風速
1022.3 hPa	南南東	強い風
日射	雨量	降水強度
弱い	50mm/h	50mm/h
連続雨量	暑さ指数	
250mm	13.8 °C	

観測地点詳細
観測した気象データの
詳細情報

3 アラート通知で重要情報を逃さない

アラート編集 保存

△△小学校
○○小学校
□□小学校

日射
1時間雨量
降水強度

20 mm/h 以上
30 mm/h 以上
50 mm/h 以上

アラートを削除

観測地点の選択

観測要素の選択

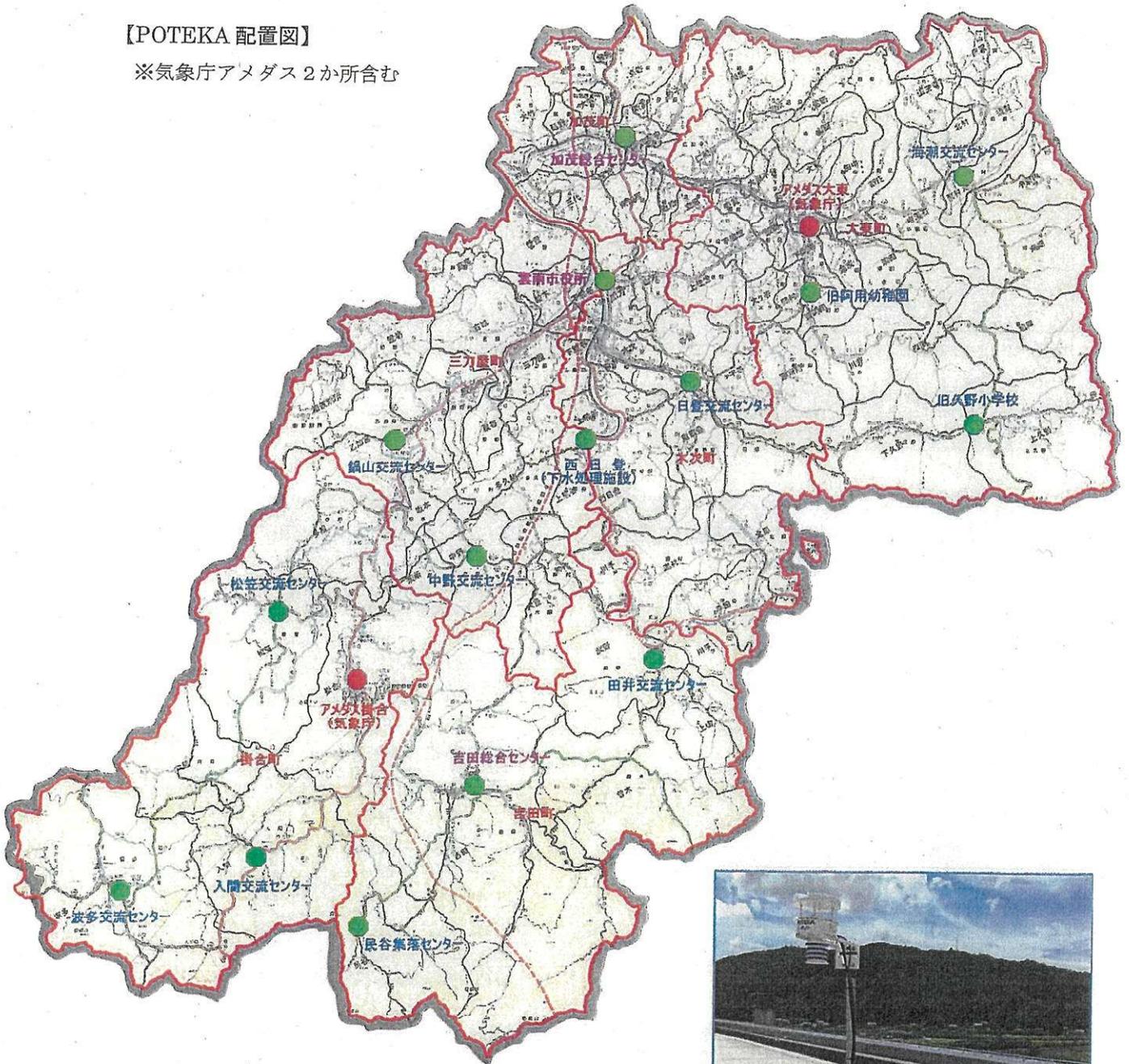
アラート条件の
数値設定

MyPOTEKAはリアルタイムで観測されている様々な気象情報を閲覧できるスマホアプリ。「気温・湿度・気圧・風・日射・雨量・降水強度・連続雨量・暑さ指数・天気」から確認したい気象情報を選んで表示できます。雨雲レーダーやアメダスなどの表示も可能。自動更新をONにすれば、5分ごとにデータを更新します。

MyPOTEKAではきめ細かにアラート通知設定を行うことが可能です。常に状況を把握したい地域や観測点ごとに「アラート通知設定」を行うことで、例えば観測点から離れた場所においても、気象の急変などの状況をつかむことが可能です。観測点別に、観測要素やアラート条件（数値など）を個別に設定できます。またプッシュ通知のON/OFF切り替えなども可能です。※Android App専用機能です。

【POTEKA 配置図】

※気象庁アメダス2か所含む



POTEKA®

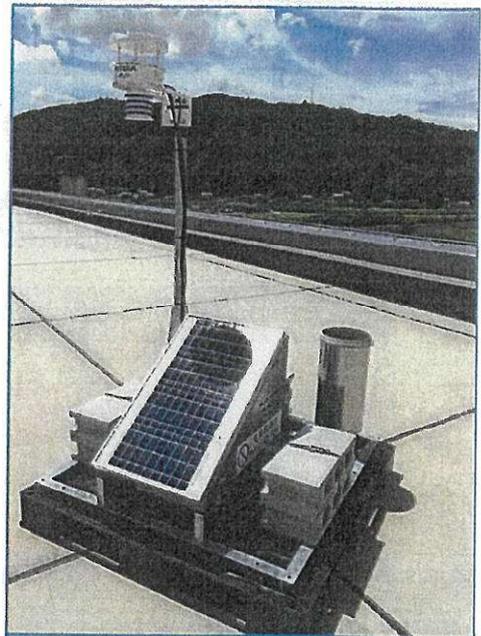
↓ ↓ ↓

ポ て か

イ ん ん

ン き そ

ト く



市役所本庁舎屋上に
設置した POTEKA

【 問い合わせ先 】 雲南市 総務部 危機管理室 (Tel 0854-40-1027)

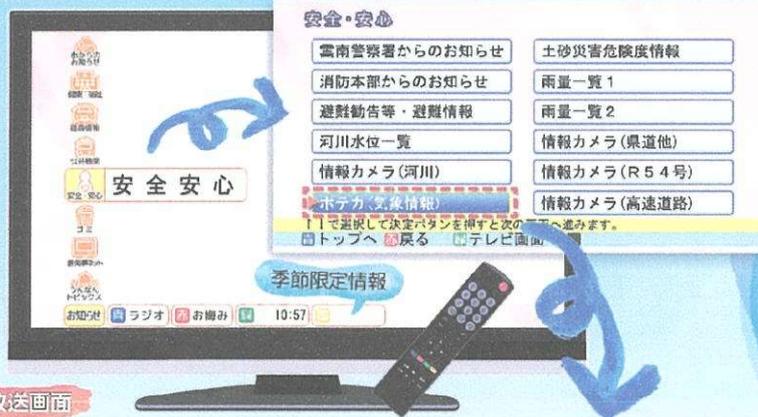
POTEKA (ポテカ) 情報のケーブルテレビデータ放送配信について

ケーブルテレビのデータ放送で市内の気象情報を配信

危機管理室 ☎0854-40-1027

6月上旬から雲南夢ネットのデータ放送で超高密度気象観測・情報提供サービス「ポテカ」の市内気象情報を確認できるようになります。

- 観測地点** 大東町：阿用、久野、海潮 加茂町：加茂中 木次町：里方、日登、西日登
三刀屋町：鍋山、中野 吉田町：吉田、民谷、田井 掛合町：松笠、波多、入間
- 観測項目** 天気、気温、湿度、雨量、連続雨量、暑さ指数、風向、気圧



スマートフォンアプリも配信中!

無料アプリ「My POTEKA」ダウンロードはこちらから

iPhoneをご利用の方: Download on the App Store
Androidをご利用の方: GET IT ON Google Play

ポテカ(気象情報) 情報提供元: 雲南市

表形式で表示

天気: 晴れ, 雨, 曇り, 夜間, 晴れまたは曇り, 雨または雪, 雪

観測時刻	気温 (℃)	湿度 (%)	雨量 (mm)	連続雨量 (mm)	暑さ指数	風向	気圧 (hPa)
04/09 14:30	19.3	35	0.0	0.0	19.3	35	0.0
14:20	19.2	35	0.0	0.0	19.2	35	0.0
14:10	19.2	35	0.0	0.0	19.2	35	0.0
14:00	19.2	35	0.0	0.0	19.2	35	0.0
13:50	19.0	34	0.0	0.0	19.0	34	0.0
13:40	19.0	34	0.0	0.0	19.0	34	0.0
13:30	19.0	34	0.0	0.0	19.0	34	0.0
13:20	19.0	34	0.0	0.0	19.0	34	0.0
13:10	19.0	34	0.0	0.0	19.0	34	0.0
13:00	19.0	34	0.0	0.0	19.0	34	0.0

※デザインは変更になることがあります。

市が発令する「避難情報」

危機管理室 ☎0854-40-1027

これからの季節、大雨や台風などにより「避難情報」が発令された際に、適時適切な避難を行うため、家族や地域で行動の確認をしましょう。また、早め早めの避難を心掛けましょう。

避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合

避難準備・高齢者等避難開始

- いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる方は、避難を開始しましょう。
- 避難に時間を要するひと(高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者に避難を開始しましょう。

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

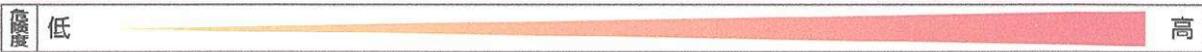
避難勧告

- 避難場所へ避難をしましょう。
- 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くのより安全と思われる建物に移動をしましょう。

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

避難指示(緊急)

- まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。
- 外出することがかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。



※必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、注意してください。また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。大雨等の際に、不安なことがありましたら、各総合センターまたは危機管理室へ連絡してください。

◎市が「避難情報」を発令した際には、音声告知放送・安全安心メール・緊急速報メール(エリアメール)・広報車巡回・自治会長および地域自主組織代表への電話連絡等により避難周知を図ります。あわせて、その際に市が開設する指定避難所の情報も周知します。また、しまね防災メールでは県内の地震情報や気象警報等防災情報をメールでお知らせします。

★メールの登録方法はコチラ★



雲南市安全安心メール
unnan-anzen@xpressmail.jp



しまね防災メール
bousai-shimane@xpressmail.jp

下記のアドレスまたは二次元コードからメールを送信してください。

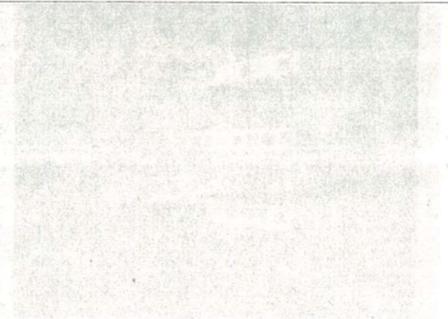
雲南市 水位計 要望箇所



橋の高欄に回転灯が設置されている



回転灯



簡易水位計設置要望箇所

【奥出雲町】



飯南町管内図

河川水位計要望



モデル設置箇所として
平成30年度は 松崎橋を候補とする

1:50,000